

広島県経済の動向

令和2年12月14日

商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	
5	名目賃金、実質賃金の推移【事業所規模5人以上】	
6	名目賃金、実質賃金の推移【事業所規模30人以上】	

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R 2 年		
	9 月	10 月	11 月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きが見られる。		景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。
輸 出	持ち直している。		
生 産	持ち直しの動きがみられる。		持ち直している。
設 備 投 資	弱い動きとなっている。		このところ減少している。
雇 用 情 勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。		感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
個 人 消 費	一部に足踏みもみられるが、持ち直している。	持ち直している。	
住 宅 建 設	弱含んでいる。		
企 業 収 益	感染症の影響により、大幅な減少が続いている。企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。		大企業では一部に減少幅の縮小がみられるものの、全体としては、感染症の影響により、大幅な減少が続いている。企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。

(2) 先行き

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和2年11月25日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R 2年		
	8月	9月	10月
基調判断	新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しい状況が続いている。	新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しい状態が続いているものの、持ち直しの動きがみられている。	
輸 出	大幅に減少している。	持ち直しの動きがみられている。	
生 産	大幅に減少している。	持ち直しの動きがみられている。	
設 備 投 資	横ばい圏内の動きとなっている。	弱めの動きとなっている。	
雇 用 情 勢	弱めの動きがみられている。		
個 人 消 費	持ち直しの動きがみられている。	感染症の影響を受けつつも、持ち直しの動きがみられている。	
住 宅 投 資	緩やかに減少している。		

(2) 県内の経済の状況

需要項目別に概観すると、公共投資は復旧・復興需要がみられる中で、高水準で推移している。輸出は持ち直しの動きがみられている。個人消費は感染症の影響を受けつつも、持ち直しの動きがみられている。設備投資は弱めの動きとなっている。住宅投資は緩やかに減少している。

生産は持ち直しの動きがみられている。雇用・所得環境をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年並みとなっている。

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、そのペースは緩やかなものにとどまるとみられる。今後とも、感染症が県内の経済金融情勢に与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和2年11月2日公表）】

※直近月は12月14日公表予定であるため、先月公表分を反映

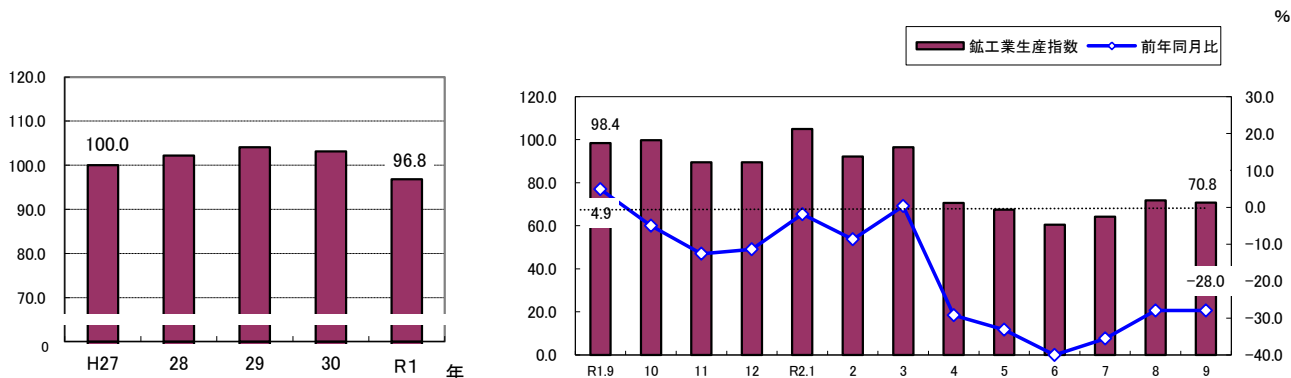
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼（令和2年9月）

9月の鉄工業生産指数（鉄鋼業，原指数，速報値，平成27年＝100）は70.8で，前年同月比で28.0%減少となっている。

鉄工業生産指数（鉄鋼業）（年別，月別・前年同月比）

【県統計課】



○最近の景況

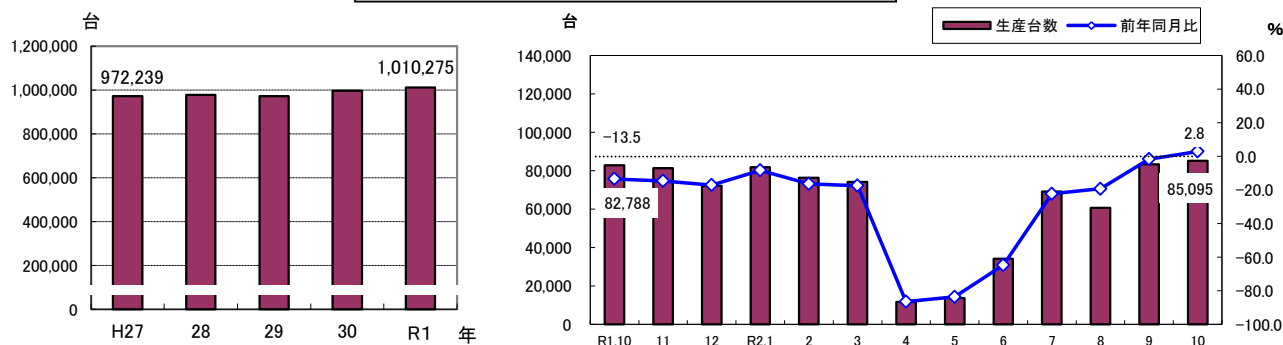
持ち直しの兆しがみられている。

2 自動車（令和2年10月）

10月の国内生産台数は85,095台で，前年同月比で2.8%増加となっている。

自動車生産台数（年別，月別・前年同月比）

【マツダ（株）】



○最近の景況

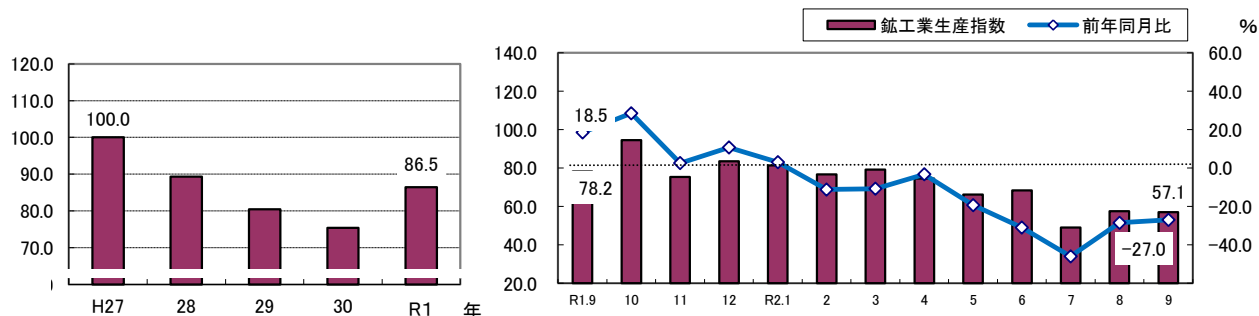
持ち直しの動きがみられている。

3 造船（令和2年9月）

9月の鉄工業生産指数（造船部門，原指数，速報値，平成27年＝100）は57.1で，前年同月比で27.0%減少となっている。

鉄工業生産指数（造船部門）（年別，月別・前年同月比）

【県統計課】



○最近の景況

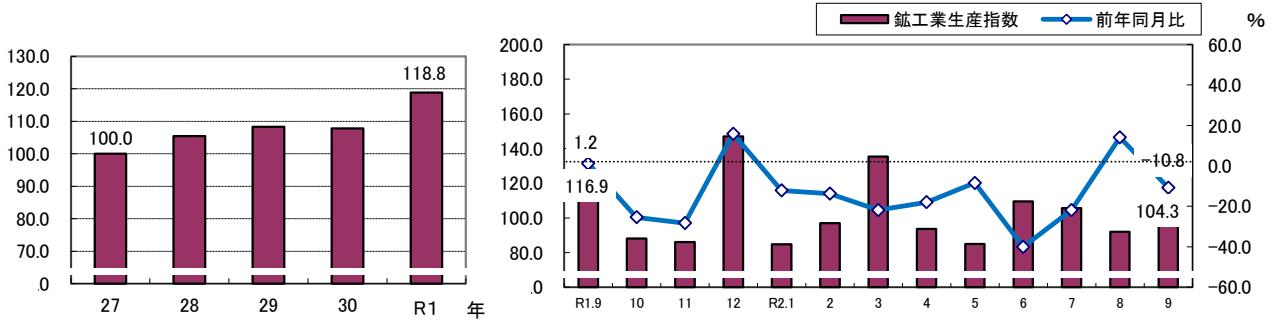
減少している。

4 一般機械（令和2年9月）

9月の鉱工業生産指数（一般機械工業，原指数，速報値，平成27年＝100）は104.3で，前年同月比で10.8%減少となっている。

鉱工業生産指数（一般機械）（年別，月別・前年同月比）

【県統計課】



○最近の景況

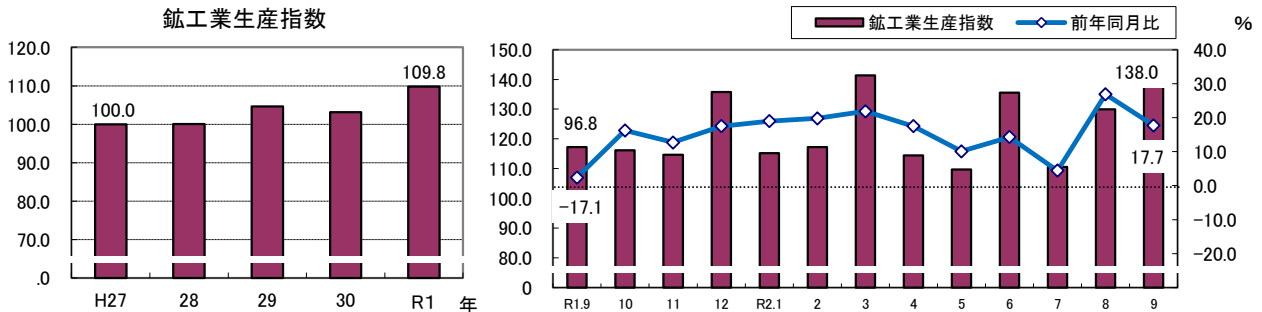
弱い動きとなっている。

5 電気機械（令和2年9月）

9月の鉱工業生産指数（電気機械工業（総合），原指数，速報値，平成27年＝100）は138.0で，前年同月比で17.7%増加となっている。

鉱工業生産指数（電気機械工業（総合））（年別，月別・前年同月比）

【県統計課】



○最近の景況

緩やかに増加している。

※ 「最近の景況」は，令和2年11月2日公表の日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」より転記。

Ⅲ 中小企業の動向（令和2年11月）

【広島県中小企業団体中央会】

1 概況

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比29.2%増加との13か月の振り前年超えとなった。マツダ車も13.5%増加と7ヶ月振りの前年超え、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比4.9%減少で10ヶ月連続の前年割れとなった。

木材業界では、全国住宅着工数は前年同月比9.9%減少と15ヶ月連続の前年割れ、一方、広島県内の着工戸数は前年比18.7%と4ヶ月振りの増加となった。

景況感は今月も引き続き回復基調にあるが、前年同月水準にまでは回復していない。GoToキャンペーンの効果も業界や企業間によって様々である。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく。

景況 天 気 図	業種	9月の景況感	10月の景況感	業種	9月の景況感	10月の景況感
	食料品			一般機械器具		
	繊維・衣服			電気機械器具		
	木材			自動車部品		
	家具			造船		
	印刷			建設		
	化学			トラック輸送		
	プラスチック製品			内航海運		
	土石製品			卸売		
	鉄鋼（鋳物）			小売		
金属製品			情報サービス			

好況
 やや好況
 普通
 やや悪い
 悪い

(1) 景況感の変化

景況感	業種数		
	9月	10月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	1	1
普通	3	3	0
やや悪い	9	11	2
悪い	8	5	▲ 3

(2) 前月（9月）から変化のあった主な業種

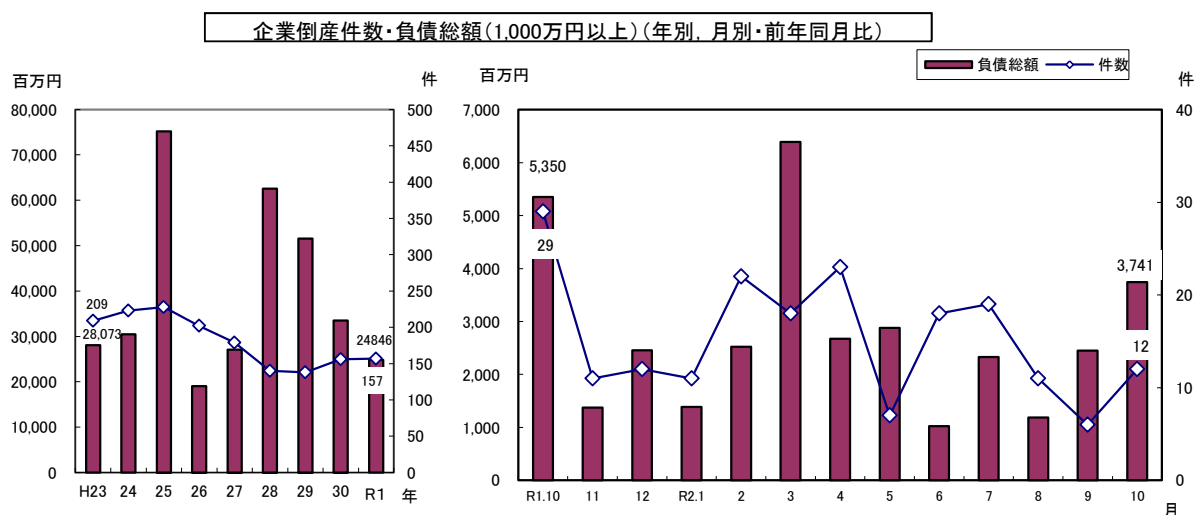
業種	9月の景況感	10月の景況感	変化の理由・状況
土石製品	普通	やや良い↑	出荷状況 R2年10月3,838㎡（前年比11.63%増加） R2年 9月3,159㎡ R1年10月3,438㎡ 【広島地区生コンクリート協同組合】
木材	やや悪い	普通↑	<広島> ・9月の着工戸数は1,532戸で前年同月比18.7%増加 ・内訳としては、持家は440戸で前年比9.1%減少、貸家は467戸で前年比2.9%減少、分譲は624戸で前年比92.6%増加と県全体の住宅着工動向は4ヶ月ぶりの増加となった。 ・プレカットの稼働状況も工場間で差はあるものの、非住宅木造物件の加工が増えていることもあって全体的に繁忙感が強まっている。 ・住宅営業では、Webでの来場予約受付やPRが出来るかの営業力により差がついている。 ・梱包やパレットなど物流資材は依然として需要が落ち込み低迷している。 ・コロナ禍で先行きが見通しづらい状況ではあるが、受注戦略や営業力による差は大きく、堅調な企業がある一方で、業況悪化を訴える企業も多く2極化が進んでおり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。 【広島県木材協同組合連合会】
食料品	悪い	やや悪い↑	10月の出荷量は前月比11.6%増加、前年同月比10.9%減少となり、売上高は前月比12.2%増加、前年同月比11.8%減少となった。 【中国醤油醸造協同組合】 今月の売上は、前年比、前年同月比ともに増加となった。全体的にようやく回復の兆しが出てきた。しかし、多くの業種で未だ消費が伸び悩んでいるように感じる。 【広島県東部菓子商工業協同組合】
化学	悪い	やや悪い↑	政府や地方自治体のGoToキャンペーン、地域クーポン券など、各種補助金制度により少しずつ経済が上向いてきた感じがある。しかし、全世界において再び新型コロナウイルス感染が再拡大しており、ヨーロッパ各国においてはロックダウンが再び始まっている。自動車業界においては、9月、10月は前年比9割程度まで仕事量は回復しているが、安定はしておらず、再び低下する恐れもあり、先行きは不透明であると言わざるを得ない。 【中国ゴム工業協同組合】
一般機械器具	悪い	やや悪い↑	今月の売上は、前月比40%減少、前年同月比25%減少となった。 収益状況、設備操業度は未だ厳しい状況が続いている。受注は内外需ともに底打ちし、回復傾向にある。業界の景況感は、受注が改善したことから、若干好転した。 【広島県東部機械金属工業協同組合】 組合員において、家賃支援給付金申請を検討している企業が3社程度ある。今月の売上は、前年同月比では、昨年の消費税率引き上げ時の反動減よりは若干増加している。 【出島工業会協同組合】

IV 企業倒産状況（令和2年10月）

1 概況

負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が12件、総額37億4,100万円であった。前月比で件数は6件増加し、負債総額は12億9,100万円増加した。前年同月比では、件数は17件減少し、負債総額は16億900万円減少した。大型倒産（負債総額10億円以上）1件発生した。

区 分	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月
件 数 (前年同月比)	11件 (+ 1件)	6件 (▲ 7件)	12件 (▲ 17件)
負債総額 (前年同月比)	1,186百万円 (+ 195.8%)	2,450百万円 (+ 9.3%)	3,741百万円 (▲ 30.1%)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が6件、製造業、サービス業が各2件、建設業、運輸・通信業が各1件。負債総額では、卸・小売・飲食業、製造業、サービス業、運輸・通信業、建設業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が8件、放漫経営が2件、シワ寄せ、売掛金回収難が各1件であった。

4 今後の見通し

県内倒産の件数は2020年に入って8月までは5月を除く7カ月で前年を上回っていたが、9月に続いて10月に於いても前年同月よりも減少となった。新型コロナウイルス対策の各種支援策の効果が広く行き届いてきている面と、「withコロナ」への対応の浸透や「Gotoキャンペーン」等によって持ち直しの動きもみられる面などから倒産件数は抑制されていると考えられる。

倒産件数は9月、10月と2ヵ月連続減少となる一方、広島県内の新型コロナウイルス関連倒産（準備中を除く）は3月1件発生し、4月1件、5月1件、6月3件、7月4件と5ヵ月連続で発生、8月に於いて発生はなかったが、9月1件、10月は7件発生と集計以来最多となっており、新型コロナウイルスの影響を受けた先の息切れは鮮明になってきた。

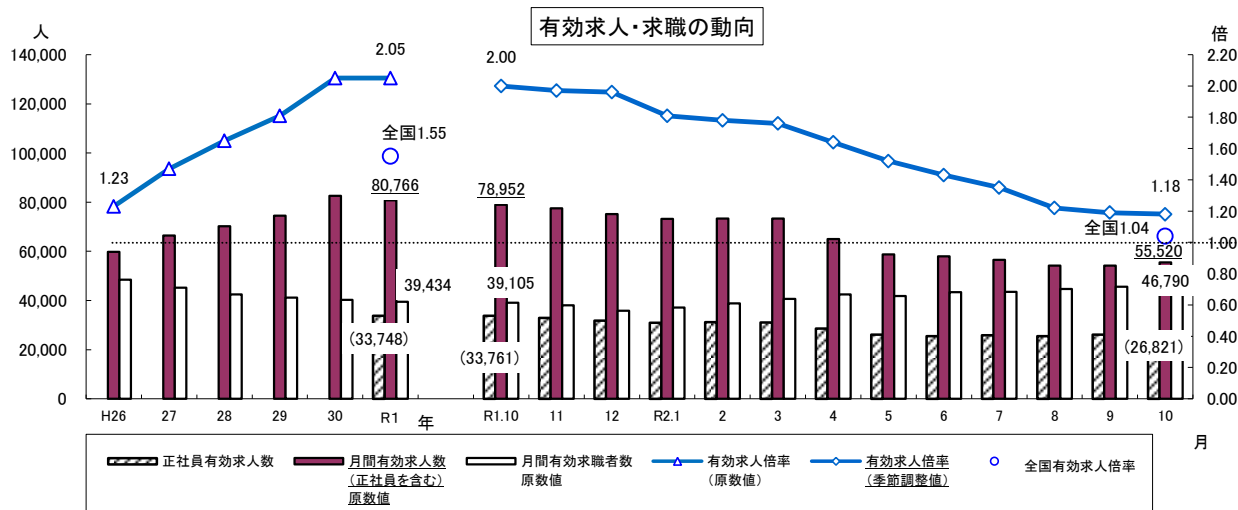
また、10月に倒産した企業の中には新型コロナウイルスの影響が広がる6月に設備投資を実施し、投資資金や運転資金などコロナ禍で年商規模に迫る金額の資金を調達したものの、10月に事業停止し破産を選択した。新型コロナウイルスの影響で刻々と変化する経済環境の中で先行き等を鑑みて経営判断していくことは容易ではなく、前述のようなケースが今後も発生することも考えられる。未だ新型コロナウイルスの収束時期は不明で先行きの見通しが立ちにくい状況が続いていることから、経営に於いて慎重かつ迅速な判断が求められており、自治体や金融機関などの中長期的に寄り添った支援の必要性が高まっている。

V 最近の雇用失業情勢（令和2年10月）

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月
有効求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	1.22倍 (▲ 0.13ポイント)	1.19倍 (▲ 0.03ポイント)	1.18倍 (▲ 0.01ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	0.93倍 (▲ 0.03ポイント)	0.94倍 (+ 0.01ポイント)	0.95倍 (+ 0.01ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

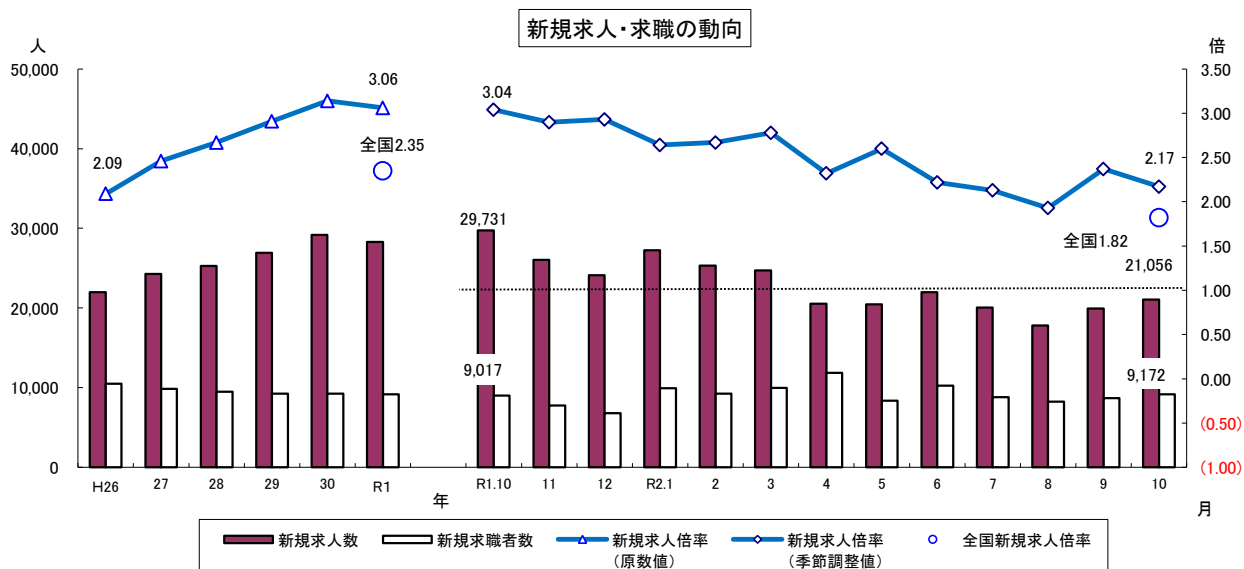
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 平成31年1月から令和元年12月の季節調整値は改訂されている。（令和2年1月分公表時改訂）

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月
新規求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	1.93倍 (▲ 0.20ポイント)	2.37倍 (+ 0.44ポイント)	2.17倍 (▲ 0.20ポイント)

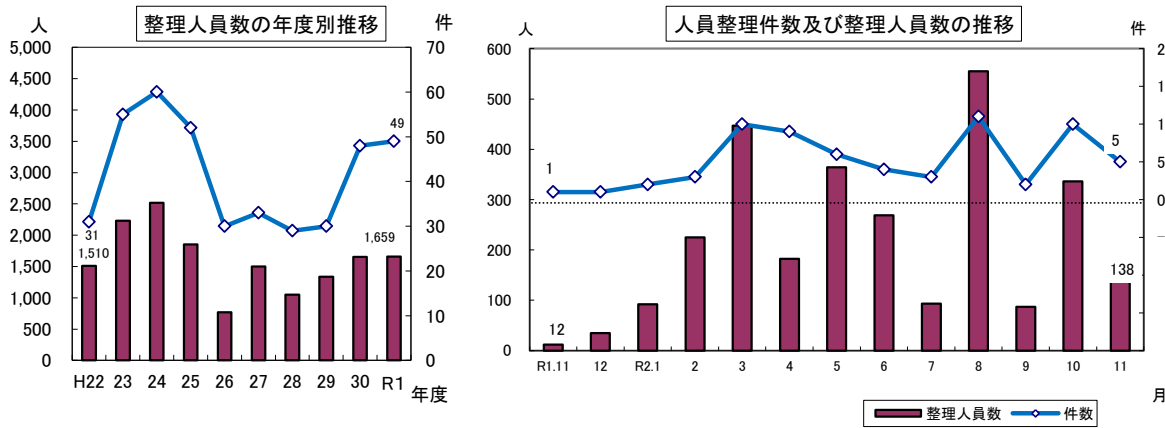
【広島労働局】



(注) 平成31年1月から令和元年12月の季節調整値は改訂されている。（令和2年1月分公表時改訂）

3 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月
件数 (前年同月比)	2件 (▲ 3件)	10件 (+ 1件)	5件 (+ 3件)
整理人員 (前年同月比)	87人 (▲ 14人)	336人 (+ 86人)	138人 (+ 96人)

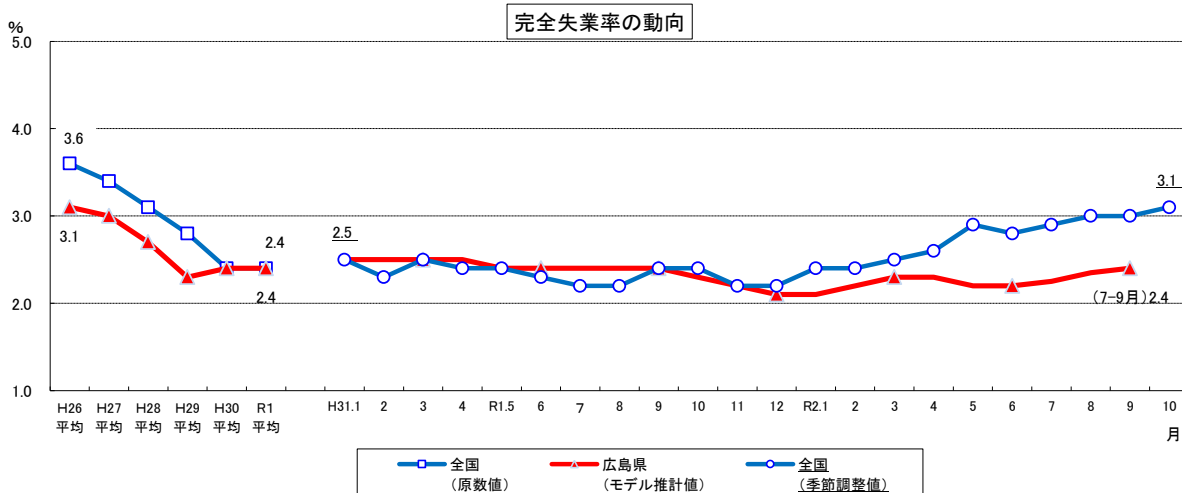


4 完全失業率の状況

区 分	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月
全国完全失業者数 (前年同月比)	206万人 (+49万人)	210万人 (+42万人)	215万人 (+51万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	3.0% (+ 0.1%)	3.0% (+ 0.0%)	3.1% (+ 0.7%)

区 分	令和2年		
	1~3月期平均	4~6月期平均	7~9月期平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前期比)	2.3% (+ 0.2%)	2.2% (▲ 0.1%)	2.4% (+ 0.1%)

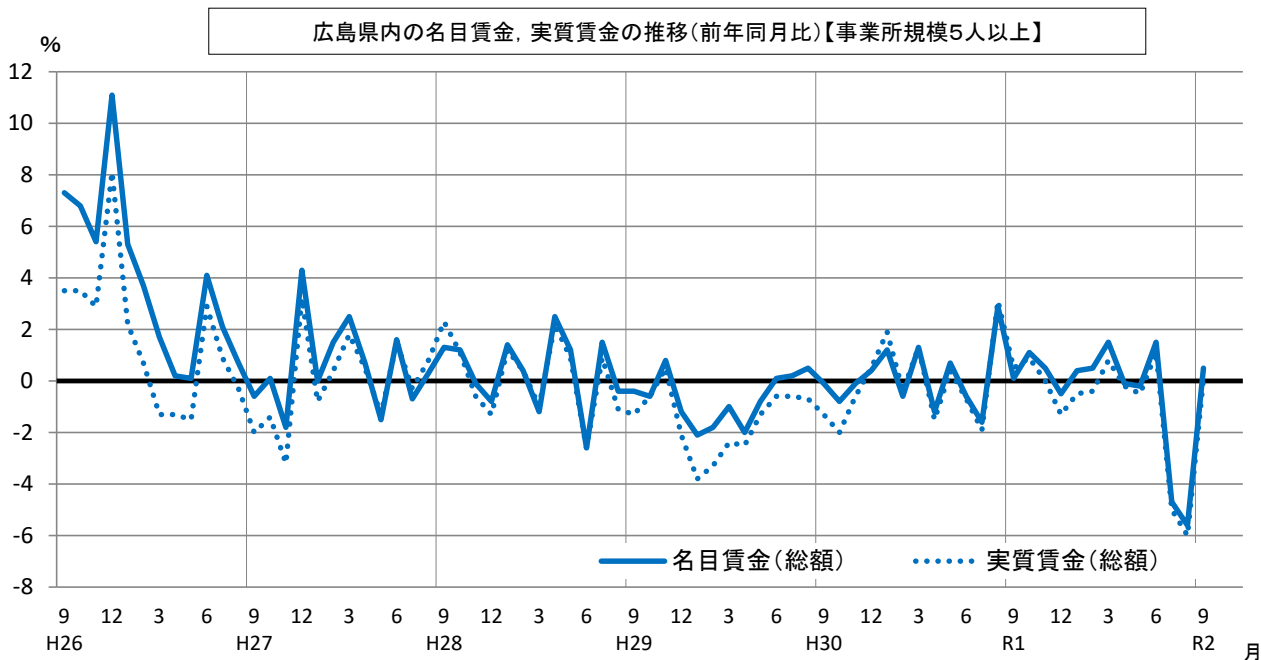
【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。

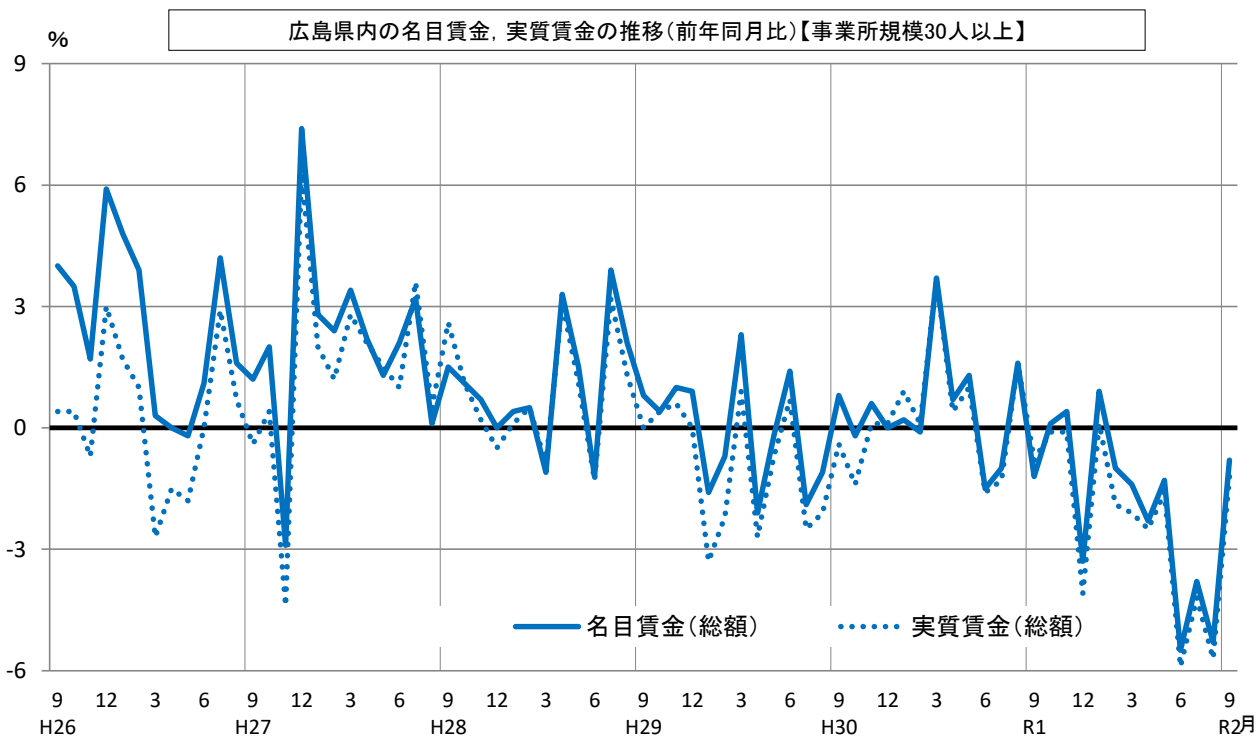
5 名目賃金, 実質賃金の推移 (前年同月比) 【事業所規模5人以上】

区 分	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月
名目賃金	▲ 4.7%	▲ 5.6%	0.5%
実質賃金	▲ 5.0%	▲ 6.0%	0.1%



6 名目賃金, 実質賃金の推移 (前年同月比) 【事業所規模30人以上】

区 分	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月
名目賃金	▲ 3.8%	▲ 5.3%	▲ 0.8%
実質賃金	▲ 4.2%	▲ 5.7%	▲ 1.2%



※ 毎月勤労統計調査から作成。

※ 毎月勤労統計調査の各月の指数を前年同月比で比較して作成。

実質賃金指数は、名目賃金指数を広島市消費者物価指数で除して算出している。